

# 大豆御書

弘安三年一〇月二三日 五九歳

大豆一石<sup>こく</sup>かしこまって拝領<sup>おわ</sup>し了んぬ。法華經の御宝前に申し上げ候。一<sup>いってい</sup>滴の水を大海  
になげぬれば三災にも失せず、一華を五淨によせぬれば劫<sup>ごう</sup>火<sup>か</sup>にもしばまず、一豆を法華  
經になげぬれば法界<sup>はちす</sup>みな蓮<sup>きょうこうきんげん</sup>なり。恐惶謹言。

十月二十三日

日蓮花押

御所御返事